ninoyu satoshi
発行所：みんなで政治を考える会
〒615-0062 京都市右京区西院坤町2
ケイハンシティビル601
TEL.075-315-2228 FAX.075-315-2310
発行人：二ノ湯 智
国会事務所
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館632号室
TEL.03-3508-8632 FAX.03-5512-2632

えとす(Ethos)とは、文化や習慣を意味し、豊かな精神をはぐくみ、平和を希望する言葉です。
題字：栢木寛照

えとす

年間購読料 1,200円(一部100円)
第3種郵便物認可 平成2年1月18日
口 座 01000-4-62360
平成20年 No.200 2月号

京都の智恵を日本に活かす。
二ノ湯智ホームページ http://www.ninoyusatoshi.com

門川氏、僅少差で共産候補を破る
与野党相乗りに多くの批判票

依然根強い共産党の勢力

2月17日、投票された京都市長選挙は、自民党、公明党が中心となって支援した前京都市教育長門川大作氏が、共産党が推薦する弁護士中村和雄氏を僅か九五一票差で振り切り、辛うじて初当選を果たした。今回の市長選挙は、国会で、ガソリン税をめぐり激しく対立している与党、野党が相乗りで門川氏を応援し、市民に今一つ理解が得られなかった。しかも期間中、厳しい寒さが続いて、終始盛り上がりに欠け、低い投票率に終わった。開票を見守る選挙事務所は、思うように票が出ず、重苦しい雰囲気であった。11時過ぎになってやっと当確が出て、詰め掛けていた支援者から歓声が沸き起こった。事務所に顔を見せた門川氏は「市民の皆様に参加してもらって、約束したマニフェストの実現に努力したい」と語った。

今回の選挙では、京都における共産党が、依然として根強いことを改めて見せ付けられた。なお、同じ日に投票のあった八幡市長選挙では、自民・公明推薦の明田功氏(前府会議員)が接戦の末、民主、共産の2人の推薦候補を破り、初陣を飾った。

恒心

★地球温暖化のせいか、季節感がだんだんなくなってきた。日本の美しい四季を詠んだ道元禅師の「春は花、夏ほととぎす、秋は月、冬雪さえて冷しかりけり」も、現実の自然現象と合わなくなって、もはや、遠く昔のように思われてきた。★三重県の北勢地方でも、12月に入ると、かなりの雪が降った。海抜900m位の郡内の山でも東海地方のスキー大会が出来るほどだった。正月、戸外はしんしんと雪が降っている。家の中で、友達とトランプで明け方まで遊び、早朝、外に出ると、雪で辺り一面銀世界。雪のない冬など想像もしていなかった。★雪のない冬はいつ頃から始まったのか。先ごろ、無性に雪が見たくなった。少し時間があったので、川端康成の名作「雪国」の一節にある「国境の長いトンネルを抜けると雪国であった」で有名な、豪雪地帯といわれる越後湯沢まで足を伸ばした。昨年も、越後湯沢、十日町まで出かけたが、雪が少なく、雪まつりも今ひとつ貧弱であった。今年は雪が多かった。やっと冬にめぐり合った感じがした。★近い将来、その地域にも雪が降らなくなったらと思うと心配だ。2月上旬、京都市内で珍しくたくさんの雪が積った。子供たちも大喜びであった。あまり降ると雪に弱い都市では、機能がマヒし、交通事故が心配であるが、やはり、気候は循環するほうがいい。

定住自立圏構想研究会を開く
地方からの人口流出を防げるか

都市と地方の格差が大きな問題となっている。工場の海外への移転、若い人々の流出、高齢化の進展など、地方の活力は急激に衰えている。しかも近い将来、行政の手助けがなければ消滅の危機に瀕する集落を抱えている多くの地方都市がある。今こそ、地方再生に取り組むべき時である。国会でも、第169回通常国会における総理大臣施政方針演説で、福田首相は地方の元気は、日本の活力の源であると強調し、地方の元気再生事業に取り組むことを明らかにした。そのために、地方都市と周辺地域を含む圏域ごとに生活に必要な機能を確保し、人口の流出を食い止める方策を進めることを約束した。福田首相の方針を受け、増田総務大臣は諮問機関として、「定住自立圏構想研究会」を立ち上げた。都市と地方が共に支え合う「共生」の考え方を具体化し、地方から若者の人口流出を食い止める方策を目指し、日常生活に必要な機能を備える圏域のあり方、その実現方法を検討する。5月中頃までに意見を取りまとめ総務大臣に提出する予定である。

第12回防災まちづくり大賞表彰式

消防庁、消防科学総合センター、住宅防火対策推進協議会では、阪神・淡路大震災以後、災害に強いまちづくりを推進するために全国各地で防火・防災のために積極的に取り組んでいる団体を表彰しており、今年で12回目になる。平成19年度、自薦、他薦で応募した団体は142団体で、そのうち16団体が表彰された。今年の特徴は①地方からの多くの団体、②被災地兵庫県から3団体、③消防団が2団体、④大学などの教育研究機関が表彰されたことであった。総務大臣大賞を受けた神戸市の「大日通周辺地区まちづくりを考える会」の代表城戸秀則氏は阪神・淡路大震災を教訓に、神戸に住む外国人のために災害時に必要なポルトガル語のガイドブックを作成中と話していた。表彰を受けた団体はいずれもレベルが高く、安全・安心を願う地域住民の篤い信頼を受けているようである。

全国市議会議長会評議員会
増田大臣の祝辞を代読

2月7日、全国から市議会議長約200人が参加して、全国市議会議長会評議員会が開催された。本来ならば、増田総務大臣が出席して祝辞を述べるべき重要な会合であるが、衆議院で予算委員会が開催中のために席を外すことが出来なかった。かって議長会会長を務め、現在は議長会顧問でもある総務大臣政務官の二ノ湯参議員が代理として出席、大臣の祝辞を代読した。

平成19年度
「姉妹自治体交流」表彰式

財団法人自治体国際化協会は昭和63年に設立されて以来、地方自治体の姉妹提携・姉妹交流を積極的に促進してきた。姉妹都市交流は提携当初、積極的に色々な行事が行われるが、年月が経つにつれて交流もマンネリになり、市民相互の往来が少なくなる点が問題である。協会では、創意と工夫に富んだ姉妹交流を行っている自治体を表彰するために、平成18年度から総務大臣賞を創設した。19年度は、推薦のあった25自治体から、最終的に次の3自治体が選ばれた。ロシアのハバロフスク地方と特別天然記念物であるコウノトリの保護増殖、野性復帰の共同調査研究という特色ある交流を継続的に行っている兵庫県。一粒の麦という基本理念のもと「人」、「文化」、「経済」の3つの柱を軸に、イタリアのチェルタルド市と多面的に交流を展開してきた甘楽町（群馬県）。第一次世界大戦中にドイツ兵の俘虜収容所が鳴門市に置かれ、その俘虜たちによる日本初の「第九」の演奏が行われたことは有名である。俘虜と住民との交流をきっかけに、ドイツのリューネブルク市と姉妹提携を締結した鳴門市（徳島県）である。二ノ湯政務官は、各自治体に表彰状を授与し、お祝いの言葉を述べた。

「えとす」発刊200号を祝して

自由民主党審議役　内藤丈二

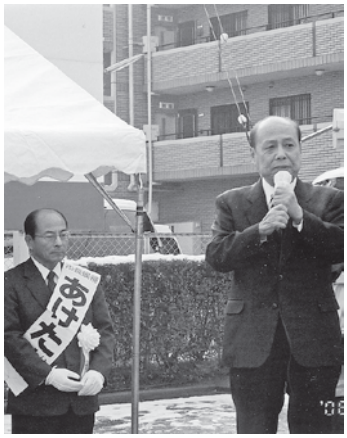
初めて二ノ湯先生にお目にかかったのは、自民党機関誌に前尾繁三郎先生のことについて書いていただけないかと、お願いにあがったときです。先生は若い頃、前尾先生の秘書をされていたので、すぐ快諾してくださり、当時の思い出ばなしをされました。私は、「今言われたことを文章にしていただければ…」と申し上げて辞去しかけると、「私もこんなものを出しているんですよ」と、そのときにいただいたのが本号で200号を数える、この『えとす』でした。政務多忙の中、毎月発行しつづけることは大変なエネルギーを要しますし、そのご苦労の程はいたいほど分かります。コラム「恒心」や「身辺雑記」の欄に先生の日ごろの思いが凝縮されていて、共感を覚える読者も少なくないと思います。私もその一人です。決して気取らない先生のきわめて平易な文章にもかかわらず、品格があり、その背後に漂う情感も伝わってきます。ひとりの議員が読者の協力を得て平成元年6月から発刊を重ねてきたことは文字どおり壮挙です。政治史の立場からみても、本誌がたいへん貴重な資料となり、のちの歴史は必ず高い評価をくだすものと確信いたします。雑誌はさまざまな人の縁(えにし)なしには創りえません。二ノ湯先生のますますのご活躍とともに、文化と歴史に育まれた京都の地で、人々との縁をつなぐ、こころの通いあった月刊誌として、更なる発展をお祈り申し上げます。

京都府知事　山田啓二

「えとす」発刊200号を心よりお慶び申し上げます。平成元年6月の創刊以来、市政や府政をはじめ、国内外の様々な課題に対し二ノ湯先生の高い見識と豊富な経験を踏まえた貴重な御意見を発表してこられたこの月刊紙は、新しい時代を切り拓いておられる先生と市民、府民を結ぶ架け橋として、重要な役割を担ってまいりました。この間、先生は、京都市会議員から参議院議員となられ、御活躍の場も京都から国政の大舞台へ転じられましたが、常に庶民の立場、府民の視点に立って、ふるさと京都の輝かしい明日を願ってやまない二ノ湯先生の熱い思いは変わることなく紙面にあふれています。現在、総務大臣政務官という枢要な地位にあって、地方のために御尽力いただいている二ノ湯先生のますますの御活躍と、記念すべき200号を通過点として「えとす」がさらなる飛躍を遂げ、末永く積み重なりますことを心からお祈りいたします。

国会開会中の合間を縫って応援
京都・八幡市長選挙

今年の冬は非常に寒い日が続いた。その最中、京都では2つの市長選挙が行われた。2月3日告示の京都市、1週間遅れて始まった八幡市。どちらの市も、現職の引退に伴い新人同士の激しい争い。厳しい気象条件の下、候補者には実に過酷な選挙運動であった。自民党は京都市では門川大作氏(前京都市教育長)、八幡市は明田功氏(前府会議員)を推薦候補に決定した。国会開会中のため、国会議員は、再三応援に入ることも出来なかったが、自民党京都府連副会長の二ノ湯参議員は京都市長選では10会場、八幡市長選では3会場の演説会に顔を出し、両候補の支援を訴えた。



八幡市長候補明田功選挙事務所出陣式

門川大作個人演説会(深草小学校)

源氏物語千年紀、記念硬貨を発行
額面千円の銀貨幣、10月発売

昨年11月、地方自治法が施行されて60周年を迎えた。それを記念して、総務省では今後10年間をかけて、額面千円の記念硬貨を47都道府県ごとの図柄により順次発行することになった。今年度は12道府県から発行の希望があった。1月16日に開かれた全国知事会、財務省、有識者を交えた「記念貨幣の発行に関する会合」で検討した結果、歴史的、文化的、国際的に意義のある行事と関連する、誰が見ても納得できる3つの道府県に決定した。7月に洞爺湖サミットが開かれる北海道、昨年7月に石見銀山遺跡が世界文化遺跡に登録された島根県、そして源氏物語が記録の上で確認されてから千年を迎え、これを記念して様々な記念行事に取り組んでいる京都府が選ばれた。北海道の記念硬貨(銀貨)は洞爺湖サミットに合わせて最初に発行する予定になっている。貨幣の図柄については、表面は、都道府県毎のデザインとなるが、裏面は、全都道府県共通の仕様となる。北海道を優先的に決め、その後は「記念貨幣のデザイン等に関する懇談会」において検討されるが、地元の意見も十分に取り入れられることになっている。京都府の場合、10月下旬に発売する予定である。これと併せ、9月22日(月)に郵政事業㈱から記念切手も発行される。

第177回
みんなで歩こう湯歩会（参加者68名）

平安神宮にて

第178回
みんなで歩こう湯歩会

・日　　時：**3月2日(日)**（小雨決行）
・集合時刻：午前9時（時間厳守）
・集合場所：上新電機前
（西大路四条西入ル・阪急西院駅西100m北側）
・コ ー ス：上新電機前→春日神社→葛野大路御池→地下鉄太秦天神川駅・新右京区役所総合庁舎（工事中）→蛇塚古墳→京都嵯峨芸術大学→嵐山渡月橋解散

◦ 2月の歩こう会は、市長選挙に伴う「えとす」発行日の変更、および、寒さ厳しい時節柄上記の通り3月第1週の2日(日)に変更させて頂きます。新しく開発のすすむ太秦天神川駅付近・巨大な石室がある蛇塚古墳を歩きます。
尚、3月の歩こう会は，桜の時季にあわせ4月6日(日)に予定しています。

（当日）☎090-1956-7460

歩くことは健康の基本

伊吹代議士、料理の本を出版

京都の旧家に生まれ育った伊吹文明代議士が、自ら献立を考え、腕を振るって作った数々の料理をまとめた本を出版した。金をかけ、贅沢な材料を使っての料理ではなく、ありあわせの食材を利用、ちょっと工夫して簡単に出来る手料理の数々が、紹介されている。正直言って、伊吹代議士にこんな特技があるとは知らなかった。是非一読され、皆さんの食生活をより一層豊かにしてください。本の題名は「いぶき亭・四季の食卓」、講談社から出版されている。

三重県人会結成の呼びかけ

ふるさとを離れて京都に住んでいる人達が、県人会を結成して、お互い親睦を深めている。京都には37の県人会がある。県人会が威力を発揮するのは、毎年1月の都道府県対抗女子駅伝の時である。各県人会がのぼり旗を立ててふるさとのチームを応援する。ところが今年、野口みずき選手が三重県の選手として出場することになった。

しかし、京都には三重県人会がなく、野口選手の地元である伊勢市出身の有志で、昨年末、にわか三重県人会を結成、チームを応援した。これを機会に正式な県人会を作ろうという気分が盛り上がり、2月9日に第2回目の会合を持った。設立準備委員会では三重県出身者に参加を呼びかけている。問い合わせは、二ノ湯事務所まで

☎(315)2228

「新政経懇話会」入会のお願い

「新政経懇話会」では、機関紙「えとす」の発行をはじめ、二ノ湯さとしの政治活動をご支援いただける会員を募集しております。

是非、二ノ湯さとしの政治理念と主張にご賛同いただき、ご入会下さいますようお願い申し上げます。

新政経懇話会　年会費　1万円

入会申込・お問い合わせ先

二ノ湯さとし事務所　☎075-315-2228

身辺雑記

一、報道関係者には非常に密度の高い情報が入るために、絶対にそれを悪用してはならない高い倫理性が求められる。それなのに株でボロ儲けするとは、情けないことだ。これでは、国民のＮＨＫ不信は益々増すばかりだ。

一、マクドナルドの支店長は果たして管理職なのか、裁判所は店長は管理職ではなく、残業代を払うべきとの判決を下した。当然のことである。私の秘書もかつて大手のコンビニで、僅かの管理職手当を貰い働いていた。話を聞くと恐ろしいほどの過酷な超過勤務で、なかなか休暇も取れず家庭を省みる時間もないというのが現状のようだ。

一、中国「天洋食品」で製造、輸入された冷凍餃子を食べ、食中毒症状になった人が全国各地で出ている。改めて、いかに中国から多くの食品が入っているかを知った。コンビニやスーパーで買えば中国産と解るが、業務用の場合、国産か輸入品か判らずに食べている。この際、中国からの輸入食品の衛生管理を徹底してもらいたい。

一、大相撲の前時津風親方が傷害致死の容疑で逮捕された。関取衆は気は優しくて力持ち、礼に正しく、他を思いやる気持ちが人一倍強いと思っていた。報道で知る限り、まるでいじめとしごき、そして暴力、国技である相撲道もあったものでない。

一、アメリカ大統領を選ぶ民主、共和両党の予備選挙が始まった。民主党のヒラリー、オバマ両氏の激しい戦いは実に興味深い。ヒラリー氏が勝てば初の女性大統領、しかも夫妻で初の大統領、オバマ氏は初の黒人大統領。いずれが勝っても史上初である。

「えとす」購読のお願い

月刊誌「えとす」は
毎月一回の発行です。
毎月ご希望の方は、郵便口座振替にて、ぜひお申し込み下さい
年間購読料　1200円
郵便振替口座 01000-4-62360
口座名：みんなで政治を考える会

── お問い合わせ先 ──
二ノ湯さとし事務所
電話　075-315-2228

ホームページを開設いたしました
http://www.ninoyusatoshi.com